



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひろば

54号 発行日: 2001.5.5
発行/ひたちまち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾広報部会
事務局/生涯学習課 ☎0294-23-9150
〒317-0064 日立市神路町1-6-11

総合的な学習の時間支援への第一歩 学校と地域団体が話し合う

開かれた学校づくりをめざし、積極的に交流を深めてきた学校と地域。2002年からの総合的な学習の時間の実施に伴い、そうした動きはますます盛んになってくると思われ

ます。百年塾では、学校部会が中心となって市内を北部・中央・多賀・南部の4地区に分け、まずは百年塾事業推進圏・校の支援をするための話し合いがはじまりました。

6月16日、4地区に先駆けて多賀地区が「学校と地域との連携を進める懇話会」を開きました。会場となった大久保中学校には、塙山小と大久保中の先生方、地元の3つのコミュニティや社会福祉協議会、体育振興会や文化協会など地域の団体や百年塾関係者など、多方面から多くの人たちが顔を揃えました。

懇話会の始めには「地域全体で各学校をどのように支援できるかを考えるための集まり」との趣旨説明があり、百年塾支援グループ多賀地区長の古川稔さんが、「わかりやすく言えば、今日は学校と地域との集団お見合い、百年塾は仲人です。お互いを良く知っていい関係を結んで」と笑わせました。

続いて大久保・塙山両校から、総合的な学習の時間への取り組みについて詳しい説明がありました。これに対しコミュニティや地域の各団体からは、地域で行っているさまざまな活動や豊富な人材の紹介がありました。

こうした情報を得て学校側は、「今、児童、生徒たちの目はどんどん外に向

けられている。地域の人たちの応援を得たり地域を学ぶことによって、自分が育った地に誇りと愛着がもてる生徒に育てたい」と、地域の人たちの支援に大きな期待を寄せました。

こうした話し合いを実施したことについて多賀・北部両地区からは「推進校だけではもったいない。多くの学校に声をかけるべきだ」との声も。

今年6月に大阪の小学校で起きた事



「もっと早く応援をたのめば…」と先生から

また北部地区は7月5日教育プラザにおいて、日高小学校と豊浦中学校の両校長と百年塾人財部会および支援グループとが顔合わせをし、学校でのゲストティーチャーの活用状況の報告や、お互いをよく知るための交流会の計画について事前の打ち合わせをしました。

件は、開かれた学校づくりに大きな陰を落としました。そうした中で百年塾は、学校と地域の連携をより密にし多くの人の目が注がれることが、子どもたちを守ることになるのではないかと考え、地域と共に学校を支援していきます。

第10回

百年塾フェスタ2001

10/27(土) 10時~15時

シビックセンター
新都市広場
マールホール

新しい出会いをテーマに体験型フェスタを開催します。

募集

1日記者

会場の様子を書いたり、写したり、一緒に「かべ新聞」を編集しましょう。

高校生ボランティア

高校生の喫茶店、漫画・CD・ゲームソフトの店を一緒に運営してくれる人

出展してみませんか

内容:日立の名産品展

対象:市内で事業を営むかた

※詳細は説明会にて

申込み:9月7日(金)まで

問合せ:百年塾サロン (TEL23-9165)

ゲストティーチャーが支援

豊富な知識 体験 技 光る

環境汚染ってコワイなー

日高小学校

7月7日、日高小学校でゲストティーチャーの津野さんが環境問題についての授業を行いました。

OHPを使っての話と、水の汚れを調べる実験がありました。大きなテーマにもかかわらず、子どもたちは津野さんの話す内容に真剣に聞き入っています。ノートには「鉱山の煙害と日立のさくら」「大煙突と環境」「ダイオキシンの食べ物による動物への蓄積」などについて、しっかりと書かれています。中でもえさに含まれたダイオキシンで、ひよこが何万羽も死んだという話などを聞き、ほとんどの児童が環境問題を身近なものとして感じ取ったようでした。

総合的な学習の時間担当の高倉先生



水の汚れを実験

は、「授業のテーマを選ぶのが一番の問題ですが、学校の先生の授業と違った専門の先生によるお話は、児童たちも特別に関心を持っており、ゲストティーチャーの意義は大きい。」と語っています。日高小学校では、こうした授業をキラキラタイムと名づけており、海野校長も「この授業を大事に育てていきたい」と話していました。

プロの技に歓声

中小路幼稚園

中小路幼稚園では、6月16日(土)に、大工さんの高萩和豊さんをゲストティーチャーに迎え木工の時間を持ちました。

この日は高萩さんの提案で「親方」と呼ぶことになり子どもたちも大喜び、早速子どもと両親と一緒に作品づくりに取り組みました。子どもやお父さんからは「長さをそろえて」「この板を薄くして」と次々と要求が出て、切った

今年度、百年塾事業推進園・校として活動を始めた各幼稚園や学校。そこには、地域の人たちがさまざまな分野で学校を支援する姿が見られます。

り、削ったりと高萩さんは大忙し。その見事な技に子どもたちは「オー」と歓声を上げ、薄く削られたカンナ屑を珍しそうに眺める姿もありました。

完成した作品と一緒に大工さんを囲んでの記念撮影は思い出の1枚になることでしょう。

園長の平野栄さんは今回の取り組みの意図を「大工仕事を体験していない両親も多く、昨年一番人気だった木工を今年も取り上げて大工さんの応援を頼みました。技を知ってもらう機会にもしたい」と話し、高萩さんは「本物の木のよさを分かってほしい、そし



親方の手元に思わず見とれる

て大工という仕事にも興味を持ってほしい」と語りました。

百年塾生き生き講座〈心とからだ〉

ストレスが身体に与える影響とその対処法

講師 永井ひたちの森病院院長 永井直規 氏

と き：8月29日(水) 13:30~15:30

ところ：日立市保健センター2Fホール(元日立郵便局跡)

日立市助川町1-15-15 (TEL21-3300)

参加費：200円(茶菓代) 定員：先着100名

申込み：8月6日(月)10時から電話で百年塾サロン(TEL23-9165)

主催：ひたち生き生き百年塾推進本部

後援：日立市保健センター

※駐車場が狭いので、出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

パソコンドクター大募集!

- ・パソコンの操作を教えることができる人
- ・パソコンの診断ができる人

山中友子隊体験中

7月21日から8月19日までの30日間、33名の子どもたちが大勢のボランティアの応援に支えられながら、日立の自然の中で共同野外生活を体験しています。どこかで彼らを見かけたら、ぜひ声をかけてあげてください。

多彩なプログラムで楽しく学ぶ

助川中学校



制服姿もりりしく

2学年の親子研修会として「職業人ら生き方を学ぼう」を実施。消防署、保育園など多種の職業の人たちを招いて話を聞きました。

大久保中学校

門馬正和さんによる巻き寿司の講習会を計画しているほか、地域を対象に学校を開放。先生方が講師となって陶芸やパソコン教室を実施しています。

豊浦中学校

2学期以降に実施予定で、現在内容を検討中です。

中里幼稚園

6月に市民教授による親子リズム遊を実施。10月にはおじいさん・おばあさんと遊ぼう会を予定しているほ

市民教授募集!

市民教授とは、専門知識や技術はもちろんのこと、自分の得意なものを「誰かに教えた」と考えている方なら、どなたでも、いつでも登録することができます。自薦・他薦は問いません。

ボランティア活動として、積極的に仲間づくり、地域づくりに参加しようとしている方を募集しています。ぜひ皆さんも、私たちと一緒に活動してみませんか! (詳細は百年塾サロンまで)

か、中里小学校から鮭の卵を分けてもらい飼育、放流を計画しています。

久慈幼稚園

すでに始まっているのが川崎弘さんの囲碁。2学期には、伊藤晶子さんのクッキーとパン作りを予定しています。

東小沢小学校

4年生と6年生が5月に、有本靖さんからメダカについて学び、ふ化、飼育に成功しました。6月には鈴木弘道さんの「いろいろな楽器にふれてみよう」を実施。子どもたち全員が、鈴木さん持参のさまざまな楽器に触れて音色を楽しみました。



あっ!音が出たよ

塙山小学校

塙山学区住みよいまちをつくる会が地域の人材の名簿を作成。そうした人たちが、学校のクラブ活動の支援を兼ねて、子どもたちと共に楽しんでいます。また土曜日には、保護者たちを中心とした団体が読み聞かせも行なっています。

市民教授

あの人この人

2001.4月~2001.6月に登録された方(敬称略)

- 今井忠 久慈町(生産職場安全診断指導)
- 有本靖 久慈町(自然観察)
- 川崎晶子 留町(音楽指導)
- 岩田悦子 森山町(和裁)
- 今橋隆道 多賀町(足裏健康法)
- 村上徳子 田尻町(フォークダンス)
- 清水道子 金沢町(フォークダンス)
- 山田啓子 高萩市(日本茶アドバイザー)
- 小園春樹 田尻町(陶芸)
- 金昌秀 助川

ホタルの飛ぶ夢が実現!

「あっ、ホタル」と子どもの声がし、一つの小さい光が飛んで草むらに止まりました。6月16日、滑川で開かれた鑑賞会に、約100人が集まりました。

「昔はごく普通に見ることができたホタルが飛ぶ自然環境を…」という、滑川まちづくり市民の会の遠藤進会長の話から、ホタルの里づくり委員会ができました。委員会ではホタル先進地の潮来町へ調査に出向いたり、研究家の安藤勝敏先生を招いて皆でホタルについて学びました。

それに対して、滑川小学校の児童13名によるホタル少年団や地域、中学生によるホタル里親の会も誕生。小学校の周囲を流れる水流を整備して、昨年10月全員でホタルの幼虫を放流しました。少年団の子どもたちは、校長室に水槽を持ち込んでホタルの幼虫を飼育、毎週新しい川の水に取り替えたり、エサを与えて観測してきました。この幼虫も5月には水流に放しました。

「放流地の近くで起きた交通事故で、路面に流れ出したオイルが、ホタル飼育水路に流れ込むからと、近所の人たちが雑巾を持ち寄って拭き取った」と、言う出来事もありホタルが地域の人たちに根付きはじめています。

この日、30分間に飛んだホタルは十数匹でしたが、たくさんの方が関わり学習したホタルへの夢によって、まちづくりに何か大きなものが生まれた気がしました。

わくわくしながらホタルを待つ



- 町(韓国語・料理・歌)
- 望月京子 かみあい町(洋菓子作り)
- 村田強 塙山町(パソコン)



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひろば

第54号 発行日/2001.8.5
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾広報部
事務局/生涯学習課 ☎0294-23-9150
〒317-0064 日立市神崎町1-6-11

広報紙づくりをとことん応援

百年塾情報部では、市内の各種団体で広報を担当する人たちを応援しようと、毎年3～4回シリーズでセミナーを開催しています。特に1年交替が多いPTA広報委員には好評で年々参加者が増えています。



第2回百年塾広報セミナー「実際に編集してみましよう」を、6月16日(土)視聴覚センターで開催しました。参加者は約100名、レイアウトについて学んだ後、それぞれの団体が持参した編集中の広報紙を、アドバイスももらいながら自分たちで作業、編集のノウハウを学びました。

今年度の広報セミナーは3回シリーズで開催、来年1月19日(土)に3回目として「こうすればもっと良くなる」をテーマに開催を予定しています。今年度中に編集された広報紙を対象に

百年塾ひろば!

情報部会では今年度から「百年塾通信員」制度を設けました。百年塾のことを少し学んでみたい、少し関わってみたいと思っている方が「通信員」として活動できるようにしました。地域で行われる行事や情報なども、メモや写真で百年塾サロンへ送ってください。現在までに2名の応募がありました。応募をお待ちしています。

「広報紙コンクール」も実施、これまでの研修成果が期待されます。

なお、セミナーの他にも更にアドバイスをという団体を支援するため「広報紙相談日」の開設もしています。詳細は百年塾サロンへお問合せください。(TEL 23-9165)

さらに自前の研修会

日高小PTA

日高小学校PTA広報委員会が7月2日(月)に、市民教授の古川稔さん



を講師に広報研修会を開催しました。委員長の内田美奈子さんは「今年は全員新人で何も分からず、6月16日の百年塾広報セミナーに3名が参加したのですが、その内容を全員に伝えることは不可能だと思い、独自の研修会を設けました。」と話しました。

取材、レイアウトなどすぐに役立つ

内容で、よく分かってやる気が出たと広報委員さんたちには好評でした。全員の意見を取り入れるためのワークショップ形式で行う企画の立て方についても学習、そこで出された意見は次号の広報紙に生かされる予定です。

みんなやる気満々

田尻小PTA

今年度の最初の号を会員に配布できてホットしているところ。

百年塾広報セミナーに参加しているいろいろなことを学びました。4月の情報を7月に知らせるような、ピンほけの記事はだめだと指摘されたことをきっかけに、親子学習会や親の会主催の研修会などを掲載した増刊号を発行します。更に2学期発行の76号は、見やすく多くの情報が入るようにA4版に変更する予定です。



アイデア出し合いレイアウト

委員長の菊地千春さんは「広報相談日も利用させてもらいました。少しずつ分かってきて楽しくなり、みんながやる気満々です。」とうれしそうに話していました。

百年塾ホームページが 楽しくなりました

ひろばの写真がカラーで見られます。このホームページは6名の委員が、メールでやり取りしながら、更新につとめています。ご意見やご要望は百年塾のEメールでどうぞ。